



ユネスコスクール便り

令和6年1月25日

大牟田市1ねこスクール

担当者通信

No.132

1月17日は「大牟田市ユネスコスクールの日」

大牟田市はご存じの通り、市内の全小中特別支援学校がユネスコスクールに加盟し、市をあげてESDを推進しています。そして、ユネスコスクール加盟を記念し、1月17日を「大牟田市ユネスコスクールの日」と定め、「ユネスコスクールのまち大牟田」の学びを全国に発信しています。

「ユネスコスクールの日」を記念した様々な取組が実施されました

1月17日の「大牟田市ユネスコスクールの日」を含む1月15日から1月19日までの一週間は、「ユネスコスクール週間」として各学校で様々な取組が行われました。

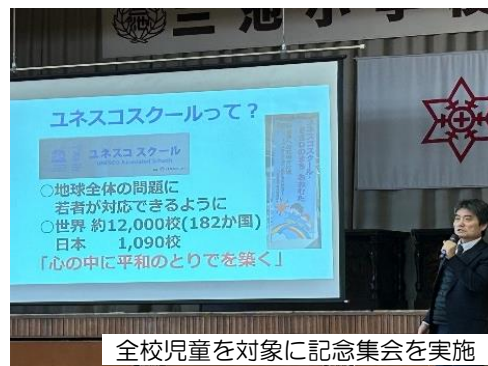
対面やリモートでユネスコスクール記念集会を開いたり、各学年の足跡を展示したりして、子ども達が自らの学びの価値についてじっくり考える機会が設けられています。



学年の学びが見える展示スペースの設置



自分達の学びをお互いに発表



全校児童を対象に記念集会を実施

特色ある実践事例の紹介



「豊かな自然を守ろう」 羽山台小学校

羽山台小学校では、5年生が地域の川調査や野外活動での自然観察を通して、生活排水と川の環境の関係について学習しました。ゲストティーチャーの柿川さんをお招きし、身近な川の環境、森・川・海のつながり、生き物が住みやすい環境についてお話いただきました。そして、実際に地域の川を訪れ、川の環境と生き物について調査しました。川の上流の自然環境、川の流れ、水質等、様々な条件が重なりあって生き物が生きていることを実感することができました。学習を通して、身近な川や自然を守りながら生活していきたいという気持ちをもつことができました。



地域の川を調査している5年生



「みんなにやさしいまちづくり」 明治小学校

明治小学校は、昨年度から防災マップ作りを行っています。大牟田市役所防災危機管理室の方に、大牟田市で起きた豪雨災害についてのお話を聞いたり、防災マップを作る際に必要なことを教えていただいたりしました。また、実際に校区に出かけ、大雨時に危険な場所を見つける視点を聞き、危険箇所を地図に記していきました。自分の命はもちろん、家族や地域の方の命を守るために地図に必要な項目を話し合い、明治校区オリジナル防災マップを作りました。そして、ユネスコスクールの日記念集会で全校に、学習発表会で保護者や地域に発信をしました。今年度も昨年度の4年生が作ったマップと引き継ぎ、現4年生が活動を始めています。



防災対策室の方と校区を調査する児童